

デジタル田園都市国家構想総合戦略骨子(案)について

鳥取県知事 平井 伸治

デジタル田園都市国家構想の実現に向け、地方は国と足並みを揃えて積極的
に取り組む所存であり、このたび示された地方創生の取組を継承・発展させる
デジタル田園都市国家構想総合戦略骨子(案)について、以下の点について意見
を申し上げる。

- デジタル田園都市国家構想は、過疎化、高齢化等の課題を抱える地方にお
いてこそ、デジタル技術を活用し、社会課題の解決を図っていく必要があり、
全国津々浦々で本構想が実現されることが必要である。骨子(案)に掲げる東
京圏の一極集中の是正や多極化など、我が国の抱える構造的問題の抜本的な
改革を着実に推し進めること。
- 構想の実現に向けた各府省庁による施策の充実・具体化及び施策間連携の
推進にあたっては、デジタル活用に限定することなく、これまで地方が積み
上げてきた成果を継承し、さらなる発展に繋がるよう、地方における工夫を
凝らした取組についても強力にバックアップすること。
- それぞれの地域が個性や魅力を生かして目指す地域像を実現するためには、
デジタル実装の前提となる条件整備が不可欠である。
については、「デジタル基盤の整備」、「デジタル人材の育成・確保」及び「誰
一人取り残されないための取組」を早期かつ着実に実施すること。
- 新たな総合戦略で策定される KPI とロードマップ（工程表）について、こ
れまでの地方創生の取組に係る継続性に配慮するとともに、地方版総合戦略
の改訂にあたっては、スケジュールも含め地方に過度の負担を強いることが
ないようにすること。

- これまで地方が進めてきた「まち・ひと・しごと」をはじめとした地方創生の課題解決の取組の成果が損なわれることのないよう、デジタルのみにとらわれない包括的な支援が必要である。

このたびの補正予算案において、デジタル田園都市国家構想交付金の前倒し実施及びデジタル実装タイプへの新たな支援策が示され、地方におけるデジタル実装を加速させ、速やかな構想実現を図る取組として評価している。引き続き、「まち・ひと・しごと創生事業費」及び「地域デジタル社会推進費」を拡充し、地方交付税等、恒常的な一般財源を確保するとともに、同交付金をはじめとする地方創生関連予算の更なる拡充・継続を行うこと。

また、同交付金の活用にあたっては、地方の意欲的な取組や地方創生の継続的な取組に支障が生じないよう、地域の実情に即した各自治体の創意工夫による事業の積極的な採択やマイナンバーカード交付率の取扱いのあり方等も含め、適切かつ柔軟な対応を行うこと。

- 構想の実現に向け、国と地方がビジョンを共有し、パートナーシップで取り組む必要がある。新たな総合戦略に基づく構想実現に向けた取組の推進にあたっては、地方の意見を十分に聴き、積極的に地方の意見を取り入れること。